

令和4年度第1回浜田市立図書館協議会

日時 令和4年7月21日(木)

14:00～15:30(予定)

場所 浜田市立中央図書館

【会議次第】

1 開会

2 あいさつ

○浜田市教育委員会

3 委員紹介(資料1)

4 会長及び副会長の選出について

(会長:) (副会長:)

5 議題

(1) 令和3年度浜田市立図書館利用状況について(資料2)

(2) 浜田市子ども読書活動推進計画について(別添)

(3) 浜田市立図書館協議会「意見等集約シート」での意見について

(4) その他

浜田市立図書館協議会委員名簿

任期：令和6年3月31日

(五十音順、敬称略)

1 委員

職名	氏名	選出区分	所属団体	備考
委員	今井久晴	学識経験者	浜田商工会議所	
委員	大谷海	社会教育関係者	浜田市PTA連合会	
委員	鎌田由美	家庭教育の向上に資する活動を行う者	しまね子どもの読書等推進の会 浜田支部	
委員	栗栖真理	社会教育関係者	浜田市社会教育委員の会	
委員	玉木敦子	学校教育関係者	浜田市園長会	
委員	羽柴千晴	学校教育関係者	浜田市教育研究会学校図書館部長	
委員	古森義明	学識経験者	浜田市社会福祉協議会	
委員	別枝行夫	学校教育関係者	島根県立大学浜田キャンパス メディアセンター	
委員	三田憲昭	社会教育関係者	島根県立図書館	
委員	虫谷昭則	社会教育関係者	まちづくりセンター連絡協議会	

2 事務局

氏名	所 属
森脇昭彦	教育委員会 教育部長
草刈健司	教育委員会 教育総務課長
大坂吉二	教育委員会 教育総務課 図書館長
藤本里美	教育委員会 教育総務課 図書館係長

令和 3 年度浜田市立図書館利用状況等について

1 利用実績等

(1) 各館の利用状況

カッコ内：令和 2 年度実績

項目(単位)	中央	金城	旭	弥栄	三隅	合計
来館者数(人)	132,470 (112,563)	4,530 (4,116)	4,449 (3,067)	371 (212)	15,188 (14,354)	157,008 (134,312)
利用者数※(人)	66,572 (62,014)	2,898 (2,343)	2,718 (2,139)	371 (212)	6,414 (6,279)	78,973 (72,987)
個人貸出点数※(点)	225,705 (213,868)	9,935 (8,141)	8,852 (6,952)	1,231 (622)	26,238 (26,454)	271,961 (256,037)
利用団体数(件)	219 (195)	19 (18)	15 (15)	0 (0)	30 (27)	283 (255)
団体貸出冊数(冊)	9,644 (9,605)	720 (471)	168 (1,410)	0 (0)	1,004 (987)	11,536 (12,473)
予約・リクエスト 受付件数※(件)	11,580 (9,849)	420 (215)	471 (355)	15 (2)	295 (263)	12,781 (10,684)
レファレンス 受付件数※(件)	2,013 (1,909)	841 (457)	385 (393)	0 (0)	348 (303)	3,587 (3,062)
蔵書数※(冊)	204,718 (200,122)	21,531 (21,077)	21,626 (20,985)	5,149 (4,780)	39,301 (38,860)	292,325 (285,824)
開館日数(日)	324 (297)	294 (276)	293 (259)	294 (270)	290 (274)	—

※の項目には、移動図書館車の実績を含む

(2) 電子書籍の利用状況

(単位：点)

	令和 3 年度	令和 2 年度
電子書籍コンテンツ数	1,825	1,921
貸出点数	209	321

(3) 参考

	令和 3 年度	令和 2 年度
浜田市人口(年度末)	51,057 人	52,145 人
個人貸出冊数	271,961 冊	256,037 冊
市民 1 人当たりの貸出冊数	5.33 冊	4.91 冊

2 図書館協議会

浜田市立図書館協議会は、館長の諮問機関として、図書館運営について助言や図書館の行う奉仕について意見を述べることができる機関であり、令和 3 年度は、以下の委員(任期 2 年)構成のもと開催した。

(1) 委員の任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

(2) 委員名簿 (敬称略)

選出区分	委員	異動
学識経験者	今井 久晴	
学識経験者	大島 伸一	
学校教育関係者	三浦 稔子	吉田 英昭
学校教育関係者	別枝 行夫 (会長)	
学校教育関係者	玉木 敦子	佐田 良二
社会教育関係者	瀧口 嘉輝	金山 正司
社会教育関係者	栗栖 真理 (副会長)	
社会教育関係者	佐々木 三由紀	内田 浩史
社会教育関係者	三田 憲昭	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	白川 美保子	

(3) 開催の状況

ア 第1回 令和3年6月29日 (火)

令和2年度浜田市立図書館利用状況について

浜田市子ども読書活動推進計画について

複写に関する取扱い、電子書籍について

イ 第2回 令和4年3月17日 (木)

令和3年度浜田市立図書館事業中間報告について

浜田市教育振興計画について

浜田市子ども読書活動推進計画策定状況について

浜田市立図書館協議会「意見集約シート」での意見について

3 主要事業実施状況

(1) 図書館管理運営

ア 図書資料の購入

浜田市立図書館の資料充実を図るため、図書館流通センター、県立図書館等の関係機関・団体からの推薦図書、その他新聞や各種PR紙、日常のレファレンス業務等から情報を収集し、リクエストや毎月開催する選書会議により選定した。

また、郷土資料については、図書目録や地元書店の協力を得て情報収集し、主に歴史、社会関係、地元出版の資料等を整備した。

【各館の内訳】

(単位：千円)

施設	図書費	新聞雑誌費	視聴覚資料費	その他の資料費	計 (うち寄付金)
中央図書館	9,351	2,463	74	769	12,657 (0)
金城図書館	638	51	0	3	692 (0)
旭 図書館	686	72	0	7	765 (0)

弥栄図書館	491	0	0	0	491 (0)
三隅図書館	982	535	0	0	1,517 (0)
合 計	12,148	3,121	74	779	16,122 (0)

イ 図書補完事業

国立国会図書館・島根県立図書館・各公共図書館間の相互貸借制度を活用し、利用者へのサービスに努めた。(借受数：748件、貸出数：740件)

【内 訳】

施 設	借受数 (点)	貸出数 (点)
中央図書館	571	740
金城図書館	54	(中央で取りまとめ)
旭 図書館	45	(中央で取りまとめ)
弥栄図書館	3	(中央で取りまとめ)
三隅図書館	75	(中央で取りまとめ)
合 計	748	740

ウ 佐々田文庫整備基金及び簡易閲覧所

財団法人佐々田奉公会の解散に伴い、残余財産の一部が市に寄贈されたことを受け、旧浜田図書館から設置している市内 13 か所の簡易閲覧所の充実を図ることを目的として設置された「浜田市佐々田文庫整備基金」から、図書等を購入し、簡易閲覧所を中心に図書の充実を図った。

【佐々田奉公会簡易閲覧所】

設置町名	設置場所	利用状況		配本冊数 (冊)
		利用者数 (人)	貸出冊数 (冊)	
熱田町	長浜まちづくりセンター	77	84	355
周布町	周布まちづくりセンター	56	120	329
内村町	美川まちづくりセンター	185	219	325
西村町	大麻まちづくりセンター	15	56	324
松原町	子育て支援センター	49	92	325
後野町	石見まちづくりセンター 後野分館	-	-	327
長見町	石見まちづくりセンター 長見分館	-	-	326
下有福町	国府まちづくりセンター 有福分館	3	3	325
国分町	国府まちづくりセンター	185	168	326
旭町	木田まちづくりセンター	12	33	325
金城町	久佐まちづくりセンター	13	38	325
三隅町	井野まちづくりセンター	32	38	352
弥栄町	弥栄会館	50	35	326
合 計	13 か所	677	886	4,290

※ 石見まちづくりセンター後野分館、長見分館は平成 27 年度から主事廃止により統計不能

※ 国府まちづくりセンター有福分館は令和 3 年度より新設、しまね JA 上府事業所は事業縮小につき令和 2 年度で閲覧所閉所

4 読書普及事業実施状況

(1) 読書会の開催

ア 子ども読書会

小学校3年生から6年生までを対象に市内4地区において子ども読書会を開催した。講師選書による共通の資料をもとに読書会を実施したほか、4地区合同で10月に野外活動、12月におたのしみ会を開催した。また、3月には閉講式を合同で開催した。なお、新型コロナウイルスの影響により1月下旬から2月にかけては中止となった。

【子ども読書会開催一覧】

地区	周布地区	長浜地区	浜田地区	国府地区
講師	大坂吉二館長	宇谷緑先生	大坂吉二館長	宇谷緑先生
日程	5月22日(土)	5月29日(土)	5月15日(土)	5月1日(土)
	6月26日(土)	6月12日(土)	6月19日(土)	6月5日(土)
	7月24日(土)	7月10日(土)	7月17日(土)	7月3日(土)
	8月28日(土)	8月28日(土)	8月21日(土)	8月7日(土)
	9月25日(土)	9月11日(土)	9月18日(土)	9月4日(土)
	10月16日(土) 秋の交流会(オリパラ・クイズ王)(全地区合同)			
	11月27日(土)	11月13日(土)	11月20日(土)	11月6日(土)
	12月11日(土) おたのしみ会(全地区合同)			
	—	—	1月15日(土)	1月15日(土)
	—	—	—	—
時間	3月5日(土) 閉講式(全地区合同) 午前10時～11時00分(全地区共通)			
会場	周布 まちづくりセンター	長浜 まちづくりセンター	中央図書館	国府 まちづくりセンター
会員	6名	5名	12名	2名

(2) おはなし会の開催

市民との協働による図書館運営の一環として、ボランティアの協力により、以下のとおり各図書館において読み聞かせ等を通じて読書普及を図った。また、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、人数制限や来場者名簿を作成して実施した。

ア 中央図書館

(ア) おはなし会

毎週土曜日に「おはなしのへや」で幼児と保護者を中心に、絵本の読み聞かせを通じての読書普及を図った。

開催日時：毎週土曜日 午前10時30分～11時00分

開催場所：おはなしのへや

講師：しまね子どもの読書等推進の会浜田支部、図書館ボランティア

実施回数：年46回 参加者数：子ども243人 大人189人

(イ) 電子紙芝居

しまね子どもの読書等推進の会浜田支部にも加盟する市内の高齢者による IT 推進団体「シ

ニアネットはまだ」電子紙芝居部による電子紙芝居の上演を実施した。

開催日時：毎月第2土曜日・第4日曜日 午後2時～

開催場所：おはなしのへや

講師：シニアネットはまだ 電子紙芝居部

実施回数：年21回 参加者数：子ども79人 大人65人

イ 分館

- | | |
|-----------------------|---|
| (ア) 金城図書館 おはなし会 | 毎月第2土曜日
絵本の読み聞かせ、こうさく教室 |
| (イ) 旭図書館 ブックんのおはなしタイム | 毎月第1日曜日
絵本などの読み語り、ちょこっと工作 |
| (ウ) 三隅図書館 おはなし会 | 毎月第2土曜日
季節のおはなし会 (夏・冬)
ぺたぺたアートワーク |

(3) 読書週間行事

ア こどもの読書週間<2021・第63回>

図書館名	イベント名	日時又は期間	内容
中央	(1)「子ども読書会」感想文展示 (2)「みんなあつまれ！ウッドデッキでおはなし会 & こうさく」 (3)特別映画上映会	4月13日 ～5月12日	(1)月に1回、市内の小学校3～6年生を対象とした子ども読書会を開催。新年度の会員募集もかねて、昨年度会員だった子ども達の読んだ本とその感想文を展示。 (2)小学生以下を対象とした、読み聞かせや紙芝居と絵本「ゴムあたまポンたろう」の工作など楽しいおはなし会を開催。 (3)子ども映画会開催。テレビで人気の「おしりたんてい3」を上映。
金城	(1) 2021「えほん50」 (2) 大人にも読んでほしい絵本	4月18日 ～5月25日	(1)全国SLA（学校図書館協議会）絵本委員会選定2021「えほん50」のうち、金城図書館所蔵の本を展示。 (2) 大人にもおすすめの絵本を展示。
旭	本のおたのしみ袋	4月23日 ～5月12日	図書館スタッフが色々なテーマで本を選び、袋詰めし「おたのしみ袋」として貸出。(乳幼児向け8袋、小学初、中学年向け10袋、小学中、高学年向け10袋、大人にも読んでほしいこどもの本8袋、各3冊ずつ合計36袋で108冊)
三隅	えほんの福ぶくろ	5月1日 ～5月16日	絵本を3冊ずつテーマごとに袋に入れ、中身のわからない状態で貸出。

イ 秋の読書週間<2021・第75回>

図書館名	イベント名	日時又は期間	内 容
中央	(1) 一夜一冊 (2) 図書館寄席 (3) 秋の野外朗読祭 (4) 「本が泣いています」	11月1日 ～11月21日	(1) 通常の開館時間を午後9時まで延長して、新型コロナウイルス対策をした会場で前半は「想像を創造する楽しさ」と題し、世界こども美術館学芸員 門千穂さんのお話、後半は一夜一冊の読書会を開催。 (2) 通常の開館時間を午後9時まで延長して、新型コロナウイルス対策した会場で特設高座を設け、市内で活動しておられる落語家さんによる寄席を開催。あわせて落語の蔵書も展示し貸出。 (3) 一般の方を対象に図書館のウッドデッキで朗読と尺八や津軽三味線の演奏など、紅葉を背景に秋の朗読会を開催。今後のイベント開催の参考にするため、来場者にアンケートを実施。 (4) 本の取り扱いのマナー向上を目的に傷んで貸出できなくなった本を展示。
金城	(1) 知識絵本の世界 (2) 「本」にまつわる本	10月1日 ～10月31日	(1) 科学絵本・知識絵本の展示。 (2) 「本」が関係する小説や絵本、作家の自伝などの一般書・児童書を展示。
	(3) 写真絵本っておもしろい (4) 金城図書館おすすめ本	11月2日 ～11月28日	(3) 写真絵本の展示。 (4) 金城図書館が勧める、子どもと大人に読んで欲しい絵本と一般書を展示。
	本のリサイクル市	11月20日 ～11月21日	図書館の蔵書としなかった寄贈図書と金城図書館の除籍雑誌を無料配布。
旭	読書週間！図書館なぞときイベント「ひゃっか王からの挑戦状」	10/30（土）、 10/31（日）、 11/3（水・祝）、 11/6（土）の4日間	百科事典「ポプラディア」や図書館の中にある手がかりを探して謎解き。
三隅	(1) 読書週間スタンプラリー (2) 本のリサイクル市 (3) 図書館「なぞ解き」イベントひゃっか王からの挑戦状 (4) ミリオンセラー絵本展示	10月27日 ～11月30日	(1)本を借りる・クイズに答える・本の紹介文を書く いずれかの方法でスタンプを3つ集めた方に雑誌の付録をプレゼント。 (2)図書館の蔵書としなかった寄贈図書の無料配布。 (3)小学生以上対象。ポプラ社企画の「総合百科事典ポプラディア新訂版」を使った謎解きクイズ。 (4)長く読まれているミリオンセラー絵本の紹介・展示。

(4) 図書館上映会

図書館上映会は、こどもの読書週間にあわせ、児童を対象とした「こども映画会」を開催した。

開催場所：中央図書館2階 多目的ホール

参加者数：子ども7人 大人5人

(5) イベントの開催状況（各種団体、ボランティア等との共催事業を含む）

図書館名	イベント名	日時又は期間	内 容
中央	こわ〜いおはなし会	7月18日	しまね子ども読書等推進の会浜田支部と共催でおはなし会を開催。小泉八雲などの読み聞かせと朗読を行った。
	調べる学習コンクール応援講座	7月28日 ～7月29日	学校教育課と共催で調べる学習の応援講座を開催。図書館司書も資料の選び方などの支援を行った。
	回想法講演会	11月13日	思い出語りは元気のもとをスローガンに浜田市社会福祉協議会と共催で講演会を開催。関連書籍の特集展示を行った。
	夏休み図書館なぞ解きイベント	8月11日 ～8月20日	図書館所蔵の総合百科事典「ポプラディア新訂版」（以下、「ポプラディア」）を使ったなぞ解き（2種類）を行い、子ども達が楽しみながら学ぶ機会を作った。
	テーマトーク	5月30日 7月22日 11月23日 1月10日	坂本文江さんを語り手に迎えテーマトークを開催した。 ・「時代小説を旅する」 ・「海」 ・「日々のうるおいを求めて」 ・「美の発見者たちとの出逢い」
金城	調べる学習コンクール応援講座	8月3日 ～8月4日	学校教育課と共催で調べる学習の応援講座を開催。図書館司書も資料の選び方などの支援を行った。
	ハロウィンイベント企画「折り紙で作ったキャンディーをもらおう！」	10月9日 ～10月31日	折り紙で作ったキャンディーの中におすすめ絵本の紹介文を入れ、対象を4つに分けて袋を用意。好きな袋からキャンディーを引いてもらい、紹介した本を借りてもらった。
旭	調べる学習コンクール応援講座	7月27日 7月30日	学校教育課と共催で調べる学習の応援講座を開催。図書館司書も資料の選び方などの支援を行った。
	本のリサイクル市	8月1日	図書館の蔵書としなかった寄贈図書と、旭図書館の除籍雑誌を市民の皆さんに無料で自由に持ち帰っていただいた。
	紙飛行機飛ばし大会	9月5日	図書館の本を参考に紙飛行機を折り、飛距離を競争。参加者全員にスタッフ手作りメダルと賞状をプレゼントした。
弥栄	調べる学習コンクール応援講座	8月3日 ～8月4日	学校教育課と共催で調べる学習の応援講座を開催。図書館司書も資料の選び方などの支援を行った。

三隅	季節のおはなし会	7月31日 3月26日	ボランティアによる季節ごとのおはなし会を行った。
	七夕かざり	6月22日 ～7月7日	館内に七夕飾りをし、短冊を自由に書いてもらった。
	調べる学習コンクール応援講座	7月28日 ～7月29日	学校教育課と共催で調べる学習の応援講座を開催。図書館司書も資料の選び方などの支援を行った。
	いわみの冬至祭	12月18日	三隅中央公園内の各施設と共催。おはなし会やぺたぺたアートワーク、関連展示などのほか、スタンプラリーも行った。

(6) 職場体験、図書館見学等の受入状況

区分	日程	依頼者	受入人数	受入館
施設見学	5月28日	石見幼稚園園児	13人	中央図書館
生活科	9月7日	三隅小学校2年生	23人	三隅図書館
生活科	9月29日	原井小学校2年生	38人	中央図書館
生活科	10月4日	石見小学校4年生	23人	中央図書館
生活科	10月5日	石見小学校4年生	25人	中央図書館
生活科	10月6日	石見小学校4年生	24人	中央図書館
職場体験	10月6日～10月8日	弥栄中学校	1人	中央図書館
生活科	10月7日	美川小学校2年生	15人	中央図書館
生活科	10月19日	国府小学校2年生	26人	中央図書館
生活科	10月20日	国府小学校2年生	29人	中央図書館
生活科	10月28日	長浜小学校2年生	31人	中央図書館
生活科	11月25日	松原小学校2年生	14人	中央図書館
生活科	11月26日	三階小学校2年生	18人	中央図書館
生活科	11月29日	三階小学校2年生	20人	中央図書館
生活科	11月30日	弥栄小学校2年生	10人	中央図書館
生活科	12月7日	雲城小学校2年生	21人	金城図書館
生活科	12月9日	雲雀丘小学校2年生	9人	中央図書館

(7) 広報関係

図書館からのお知らせや実施イベントを広く利用者に周知することを目的に広報はまだへの掲載、図書館だよりの発行を実施した。

図書館名	項目	回数	内容
中央	広報はまだ	毎月1回	広報はまだの「図書館情報」利用案内や各種イベント情報等を掲載した。
	図書館だより	毎月1回	図書館だよりを作成し、館内やまちづくりセンター等で配布した。
	新着図書リスト	毎月1回	新着図書リストを作成し、館内で配布した。
	テーマ図書の配架、貸出	毎月1回	毎月テーマを決め、新着図書コーナー横を展示コーナーとして、テーマ図書の配架、貸出を実施した。

金城	図書館だより	毎月1回	図書館だよりを作成し、町内全戸配布のほか各関係機関、館内で配布した。
	テーマ図書の配架、貸出	毎月1回	毎月テーマを決め、展示コーナー6カ所へテーマ図書の配架、貸出を実施した。
旭	図書館だより	毎月1回	図書館だよりを作成し、町内全戸配布のほか各関係機関、館内で配布した。
	テーマ図書の配架、貸出	毎月1回	毎月テーマを決め、展示コーナーへテーマ図書の配架、貸出を実施した。
三隅	図書館だより	毎月1回	図書館だよりを作成し、町内回覧のほか各関係機関、館内で配布した。
	テーマ図書の配架、貸出	毎月1回	毎月テーマを決め、展示コーナー7カ所へテーマ図書の配架、貸出を実施した。

(8) しまね子育て絵本

島根県から乳幼児への読書活動推進を目的に絵本セットの配本を受け、希望する保育園や幼稚園に配本する事業を実施した。

配本先 幼稚園4園：各1箱、3回貸出

保育所（大規模）8園：各2箱、3回貸出 ※子ども園を含む

保育所（小規模）4園：各1箱、3回貸出

子育て支援センター：2箱、3回貸出

5 移動図書館配本事業

浜田市全体の図書館サービスの平均化及び子どもの読書環境整備を図り、読書活動の推進拡大を目的に平成19年12月から移動図書館配本事業を開始した。また、認知度向上のため、巡回先以外の小学校やまちづくりセンターのイベントに出向き、出張展示を行った。

(1) 巡回コース

1	今福小学校 10:00～10:40	今福まちづくりセンター 10:50～11:20	波佐小学校 12:40～13:20	波佐まちづくりセンター 13:30～14:00	小国まちづくりセンター 14:20～14:50	久佐まちづくりセンター 15:20～15:50
2	石見まちづくりセンター 佐野分館 9:20～9:50	雲城小学校 10:10～10:50	きんたの森交流館 11:00～11:30	金城中学校 12:50～13:20	木田生活改善センター 14:00～14:30	美又まちづくりセンター 15:00～15:30
3	市木生活改善センター 10:00～10:30	都川高齢者活動促進センター 10:50～11:20	旭中学校 12:30～13:00	旭小学校 13:10～13:50	和田まちづくりセンター 14:00～14:30	旭町南高台町内 14:50～15:20
4	岡見小学校 10:10～10:50	わくわくマーケット 11:00～11:30	三隅まちづくりセンター 12:45～13:15	三保まちづくりセンター 13:30～14:00	白砂まちづくりセンター 14:15～14:45	大麻まちづくりセンター 15:00～15:30
5	国府まちづくりセンター 有福分館 9:40～10:10	すくすく 10:50～11:20	美川小学校 第四中学校 12:40～13:30	美川まちづくりセンター 13:40～14:10	美川まちづくりセンター 西分館 14:30～15:00	

6	弥栄小学校 10:10~10:50	弥栄会館 11:00~11:30	弥栄中学校 13:00~13:30	井野まちづくりセンター 14:00~14:30	黒沢まちづくりセンター 15:00~15:30
---	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------------	----------------------------

(2) 利用状況

ア 通常運行分

ステーション	利用者数(人)			貸出冊数(冊)		合計	
	児童	学生	一般	一般書	児童書	利用者数	貸出冊数
1コース(金城)	355	2	108	542	1,378	465	1,920
今福小学校	291	0	28	261	1,212	319	1,473
今福まちづくりセンター	7	1	14	54	26	22	80
波佐小学校	48	0	8	29	122	56	151
波佐まちづくりセンター	1	0	30	95	6	31	101
小国まちづくりセンター	5	0	12	41	2	17	43
久佐まちづくりセンター	3	1	16	62	10	20	72
2コース(佐野・金城・木田)	99	3	90	199	380	192	579
石見まちづくりセンター 佐野分館	1	1	23	56	1	25	57
雲城小学校	67	1	21	20	298	89	318
きんたの森交流館	10	1	1	8	13	12	21
金城中学校	11	0	3	13	5	14	18
木田生活改善センター	9	0	6	25	1	15	26
美又まちづくりセンター	1	0	36	77	62	37	139
3コース(旭)	66	7	59	222	296	132	518
市木生活改善センター	0	0	14	55	6	14	61
都川高齢者活動促進センター	0	0	24	84	0	24	84
旭中学校	8	7	3	31	26	18	57
旭小学校	45	0	3	26	196	48	222
和田まちづくりセンター	2	0	8	20	1	10	21
南高台町内	11	0	7	6	67	18	73
4コース(三隅・大麻)	113	1	88	191	354	202	545
岡見小学校	93	1	15	35	304	109	339
わくわくマーケット	4	0	18	33	9	22	42
三隅まちづくりセンター	2	0	12	14	14	14	28
三保まちづくりセンター	7	0	7	14	1	14	15
白砂まちづくりセンター	7	0	5	7	22	12	29
大麻まちづくりセンター	0	0	31	88	4	31	92
5コース(有福・すくすく・美川)	66	1	72	168	335	139	503
国府まちづくりセンター 有福分館	9	0	29	59	100	38	159
すくすく	4	0	9	2	81	13	83
美川小学校・四中	51	1	3	12	133	55	145
美川まちづくりセンター	0	0	22	64	7	22	71
美川(西分館)	2	0	9	31	14	11	45
6コース(弥栄・三隅)	63	6	52	118	237	121	355
弥栄小学校	56	0	14	23	195	70	218
弥栄会館	3	0	4	3	20	7	23
弥栄中学校	0	6	9	30	13	15	43

井野まちづくりセンター	1	0	23	60	3	24	63
黒沢まちづくりセンター	3	0	2	2	6	5	8

※ 児童 0歳～12歳、 学生 13歳～19歳

イ 出張展示分

日時	訪問先
7月18日(日) 14:00～15:00	石見まちづくりセンター

6 島根県寄託図書の貸出

島根県が浜田市へ寄託した学校図書館活用教育図書(浜田市立中央図書館に配置)約2,000冊を浜田市内の各小中学校へ貸出した。浜田地域以外の小中学校については申請に基づき、最寄りの分館へ搬送した。

【貸出実績】令和3年4月～令和4年3月

区分		利用団体数(件)	貸出冊数(冊)
校種別	小学校	32	263
	中学校	13	81
	その他	0	0
合計		45	344

7 市寄託図書の貸出

平成27年9月1日から廃校となった学校の図書館資料を市教育委員会から寄託を受け357冊を市寄託図書として浜田市内小中学校に貸出を行った。島根県寄託図書と同様に浜田地域以外の小中学校については申請に基づき、最寄りの分館へ搬送を実施した。

【貸出実績】令和3年4月～令和4年3月

区分		利用団体数(件)	貸出冊数(冊)
校種別	小学校	10	52
	中学校	8	23
	その他	0	0
合計		18	75

8 雑誌スポンサー制度

「浜田市立図書館雑誌スポンサー募集要領」に基づき、図書館が所蔵する雑誌の最新号に広告を掲載する雑誌スポンサー制度を継続して実施した。

【運用状況】

	中央図書館	三隅図書館
団体数	21団体	1団体
雑誌数	21誌	1誌

9 図書館施設使用料

浜田市立図書館多目的施設使用料 166,430円

10 寄附関係

図書購入費寄附 該当なし

11 第3次子ども読書活動推進計画策定

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「第3次浜田市子ども読書活動推進計画」の策定のため検討委員会を立ち上げ計画策定に取り組んだ。しかし、第2回検討委員会の新型コロナウイルス感染症感染拡大による中止等により年度内の策定が困難となり、次年度において策定することとなった。

ア 委員（任期：令和3年12月22日から計画策定まで）

選出区分	委員	所属団体等
図書館関係者	別枝 行夫（委員長）	浜田市立図書館協議会 （島根県立大学浜田キャンパス図書館長）
図書館関係者	角森 央	島根県立図書館西部読書普及センター
読書活動関係者	鎌田 由美（副委員長）	しまね子ども読書等推進の会浜田支部
読書活動関係者	栗栖 真理	社会教育委員の会
読書活動関係者	虫谷 昭則	浜田市まちづくりセンター合同連絡会 （石見まちづくりセンター館長）
学校教育関係者	佐々木 千尋	市内島根県立高等学校校長会 （島根県立浜田養護学校長）
学校教育関係者	遠藤 由紀	市教研図書館部会（中学校） （浜田市立第一中学校 司書教諭）
学校教育関係者	吉田 美穂	市教研図書館部会（小学校） （浜田市立三階小学校 司書教諭）
学校教育関係者	吉田 英昭	浜田市幼稚園長会 （浜田市立長浜幼稚園長）
学校教育関係者	煙艸 のぞみ	浜田市保育連盟 （ちどり保育所長）

イ 開催の状況

（ア） 第1回検討委員会

日時：令和3年12月22日（水） 場所：中央図書館 多目的ホール

（イ） 第2回検討委員会

日時：令和4年1月18日（火） 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止

第3次

浜田市子ども読書活動 推進計画（案）



令和4年6月
浜田市教育委員会

— 目次 —

はじめに	1
第1章 第3次浜田市子ども読書活動推進計画の策定にあたって	2
I 第3次計画の背景	2
1 国の動き	2
2 県の動き	2
3 市の動き	3
II 第2次計画の成果と課題	3
1 家庭における子ども読書活動の推進	3
2 地域における子ども読書活動の推進	5
3 学校等における読書活動の推進	7
4 図書館における子ども読書活動の推進	11
第2次浜田市子ども読書活動推進計画における 数値目標の進捗状況	15
III 第3次計画の基本的な考え方	16
1 計画の位置づけ	16
2 計画の期間	16
3 基本理念	16
4 基本目標・基本方針	16
第2章 施策の方向と具体的な施策	17
体系のイメージ図	17
計画の体系図	18
I 家庭における子ども読書活動の推進	19
1 乳幼児期からの読書活動の推進	19
2 子育て世代包括支援センターにおける読書活動の推進	19
3 「家読」の推進	20
II 地域における子ども読書活動の推進	20
1 まちづくりセンターにおける読書活動の推進	20
2 放課後児童クラブにおける読書活動の推進	21
3 図書館による地域の読書活動の推進	21

Ⅲ	学校等における読書活動の推進（学校教育課）	22
1	保育所、認定こども園、幼稚園における読書活動の推進	22
2	小学校、中学校における読書活動の推進	22
3	高等学校における読書活動の支援	24
4	特別支援学校における読書活動の支援	24
Ⅳ	図書館における子ども読書活動の推進	24
1	読書環境の整備、充実	24
2	関係機関・団体との連携、協力	26
3	読書活動の啓発、情報発信	26
4	ボランティアの育成、支援	27
	第3次浜田市子ども読書活動推進計画における 数値目標	28

《資料》

- 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 浜田市子ども読書活動推進計画検討委員会設置要綱
- 浜田市子ども読書活動推進計画検討委員会名簿

はじめに

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条）であり、地域社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組むことは極めて重要です。

読書は「本との対話」「自分との対話」「人との対話」を通して、豊かな人間性を育みます。

読書は、人間の成長過程において次のような価値のある活動です。

- 読書をするという活動自体がもつ楽しいという価値
- 読書によって知識・技能が身に付き、自分の経験と照らし合わせながら判断力・思考力・表現力等が育つという価値
- 読書を通して自分の生き方を見直し、豊かな感性が育つという価値
- 読書に関する会話の中で人とのつながりや共生の心を培うという価値

このような価値ある読書活動を推進していくことで身に付く力は、主体的に課題を見つけ、様々な他者と協働しながら、定まった答えのない課題にも粘り強く向かっていくという生きて働く力を育むためにも欠かせないものです。

また、浜田市教育振興計画に掲げられたSDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」に向けた取組を進めていく上でも重要であると考えます。

令和3年度の全国学力・学習状況調査結果の読書に関わる部分の割合は以下のとおりです。

	小学校6年			中学校3年		
	市	県	国	市	県	国
平日30分以上読書をする割合	30.4P	32.8P	37.4P	34.0P	28.8P	28.9P
不読率(全く本を読まない割合)	27.2P	25.0P	24.0P	25.9P	32.3P	37.4P
平日テレビゲームを2時間以上する割合	53.1P	47.3P	49.4P	62.0P	52.0P	57.0P

小学生の結果を国・県と比べると、30分以上読書する児童の割合が低く、不読率がやや高いということが分かります。中学生においては、国・県の割合よりも30分以上読書する生徒の割合が高く、不読率は低いという結果です。両方に共通していえることは、メディア接触の時間が長いということです。

およそ、3人に1人が、平日の読書時間が30分未満であり、4人に1人が読書をしないという状況、メディア接触の時間が長いという状況を踏まえ、上述した力を育むために、今後の施策の方向性と取組を示す「第3次浜田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

第1章 第3次浜田市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

I 第3次計画の背景

1 国の動き

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」(以下「推進法」という。)が成立しました。推進法では、「子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、国は「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(以下「基本計画」という。)を策定・公表することが定められました。

この推進法に基づき、国は、平成14年8月に第一次基本計画を、平成20年3月に第二次基本計画を、平成25年5月に第三次基本計画を、平成30年4月に第四次基本計画を策定しました。

第三次基本計画期間中においては、学校図書館法の改正(平成26年)、学習指導要領の改訂(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校幼稚部・小学部・中学部は平成29年、高等学校は平成30年、特別支援学校高等部は平成31年)が行われ、子どもの読書活動に関連する法制上の整備がなされました。

2 県の動き

島根県では、平成13年の「子どもの読書活動の推進に関する法律」の成立を受けて、平成16年3月に「島根県子どもの読書活動推進計画」(以下「県計画」という。)を策定し、その後、平成21年3月に第2次県計画、平成26年4月に第3次県計画、平成31年3月に第4次県計画を策定しました。第2次県計画からは「子ども読書県しまね」を掲げ、義務教育段階における「学校図書館活用教育」を集中的に全県展開する取組を進めました。

平成26年7月には「第二期しまね教育ビジョン21」を策定しました。このビジョンでは、「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」を基本理念とし、目標の一つである「夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てます。(向かっていく学力)」を達成するための施策として「読書活動の推進」位置付けています。

また、平成29年度からは、主体的に課題を見つけ、様々な他者と協働しながら、定まった答のない課題にも粘り強く向かっていく力を育む魅

力ある教育環境を目指し、「教育の魅力化」の取組を推進しています。「ふるさと島根を学びの原点に未来にはばたく心豊かな人づくり」を基本理念に、令和2年度から令和6年度を計画期間とした「しまね 教育魅力化ビジョン」を策定しています。

3 市の動き

浜田市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第4条及び第9条第2項に基づき、国の基本計画及び県の推進計画を踏まえ、平成25年3月に「(第1次)浜田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

その後、平成28年度策定の「第2次浜田市総合振興計画」「浜田市教育大綱」「浜田市教育振興計画」を受け、平成28年10月に「第2次浜田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。教育大綱の理念「夢を持ち郷土を愛する人を育みます」の基、施策の柱である「学校教育の充実」「家庭教育支援の推進」「社会教育の推進」に向けた取組を推進しています。

II 第2次計画の成果と課題

1 家庭における子ども読書活動の推進

(1) 乳幼児期からの読書活動の推進

①ブックスタート事業(※)の推進

- ・乳児健診や未受診者訪問等を通じて、絵本をプレゼントし、読み聞かせの大切さについて啓発しました。

②乳幼児健診等での子ども読書活動の推進

- ・読書ボランティアによる読み聞かせを実施しましたが、令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のため中止しました。
- ・乳幼児健診にあわせて、配布資料を通じて読み聞かせの大切さについて啓発しました。引き続き読み聞かせの大切さや、心を育む関わりについて啓発していきます。
- ・読書ボランティアと絵本の選定など連携して行い、健診対象児へ絵本をプレゼントするとともに、読み聞かせの大切さや心を育む関わりについて啓発していく必要があります。

※ブックスタート事業 乳幼児健診に参加したすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を手渡し、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる事業。

(2) 子育て世代包括支援センターにおける読書活動の推進

①蔵書の充実と貸し出しの推進

- ・中央図書館による団体貸し出しやしまね子育て絵本(※1)など、より豊富な絵本を揃えることで、多くの絵本との出会いの環境作りに取り組みました。令和2年度から月に1回「ラブック号(※2)」の来園も実施しました。また、いつでも長期の貸出をすることで絵本に親しむことの大切さについて啓発しました。
- ・引き続き、貸出できる蔵書の充実等を図り絵本に集中できる落ち着いた環境づくりを進める必要があります。

②読み聞かせの充実と啓発

- ・ボランティアサークルによる読み聞かせの会を毎月2回実施しました。また事業において職員が読み聞かせの場をもつことで、子どもの想像力や感性を育て親子で心地よいひと時を共有してもらうようにしています。
- ・今後もこれまでの取り組みを継続させ、ボランティア等の活用や保護者へ活動参加を呼び掛けていくことが重要であると考えます。

③読み聞かせグループの育成と連携

- ・これまでの活動を継続させ、場や情報の提供をし、読み聞かせボランティア活動の支援をしていく必要があります。

④研修会の充実

- ・各地域で開催される子育て広場等で研修を実施しました。読み聞かせの大切さについて学びの場を提供しました。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じた研修方法について、引き続き検討していきます。

※1 しまね子育て絵本 島根県立図書館が、「おすすめしたいこどものほん(ながく読みつがれた本・最近刊行されたリスト)をもとに300種類の絵本を選定。複本3冊ずつがセットで、各市町村立図書館へ寄託。保育所、認定こども園、幼稚園等での巡回活用や親子が集まる場所への貸出利用に供している。令和4年度からは「幼稚園・保育所お楽しみ子育て絵本」として100冊の増刷がある。

※2 ラブック号 浜田市立図書館が所有する移動図書館車の名前。図書館への来館が難しい地域に行ったり、各種イベントに参加したりしている。

⑤「家読(うちどく)」(※1)の推進

- ・乳幼児健診や訪問など通じて資料を配布し、電子メディアとの適切な関わりや、絵本の読み聞かせの大切さ、心を育む関わりについて啓発しました。
- ・上記のことについて継続して啓発していくことが大切であると考えます。

2 地域における子ども読書活動の推進

(1)まちづくりセンターにおける読書活動の推進

①読書環境の整備

- ・簡易な貸出し手続きの設定、ロビーに図書を設置し目に留まりやすくする工夫、夏休みの図書室開放等誰でも自由に図書を利用できる環境づくりに努めました。
- ・紙芝居の読み聞かせ等をまちづくりセンターで実施し、読書を身近に感じられる機会を提供しました。
- ・子ども達へ読書の魅力を伝えるため、まちづくりセンターと地域住民が連携した事業において、移動図書館車ラブック号を活用しました。
- ・県立図書館の蔵書を借用し、新たな本に触れる機会を設けました。
- ・選書内容の見直し(寄贈本等)、蔵書の劣化、新書が少ないという課題があります。

②啓発活動の推進

- ・地域ボランティアとの連携による保育所・認定こども園・幼稚園・小学校での読み語りや、講師を依頼しての夏休みの読書感想文講座を実施しました。
- ・地域住民への利用促進として広報を実施しました。
- ・浜田親子共育応援プログラム(通称「HOOP!」)(※2)において、絵本の読み聞かせを通して、親子の絆を深めるプログラムを実施し、読書の普及啓発に努めました。

※1 家読 「家族読書」「家族ふれあい読書」の略語。読み聞かせをしたり、読書の時間を共有したりすることで、読書の習慣化を図るとともに家庭内のふれあいの時間をもつこと。

※2 浜田親子共育応援プログラム 県の「親学プログラム」をベースにした、浜田市独自の家庭教育支援の取組。ワークショップや講義等を通して、親同士がつながり、学び合い、地域とつながることで、家庭教育を推進する取組。

ず、人材不足の傾向があります。

・時代に沿った本の提案方法を考案していく必要があります。

③本を活用したふるさと郷育の推進

- ・すべてのまちづくりセンターに「浜田市の人物読本 ふるさとの 50 人」を設置し、地域住民への普及に努めました。
- ・「ふるさとの 50 人」に記載のある浜田市ゆかりの人物に関する事業を実施しました。(ウォーキングイベント、勉強会等)
- ・文化スポーツ課では、令和 2 年度から「浜田市の歴史読本 ふるさと浜田の歩み」を市内全小学校 6 年生へ配布しています。
- ・図書館等関係機関と連携し、郷土に関する蔵書の収集を進めていく必要があります。

(2) 放課後児童クラブにおける読書活動の推進

①読書の機会の提供

- ・支援員に対する読み聞かせの研修を実施しました。また、読書の推奨に努めました。
- ・支援員やボランティアによる読み聞かせを行いました。
- ・児童が読書をする時間が増えるよう、児童クラブにおいてどういったことが可能か検討していく必要があります。

②団体貸出図書の利用促進

- ・団体貸出制度等(※)を活用して、定期的に児童クラブの図書の入れ替えを行い、読書環境の整備に努めました。

(3) 図書館による地域の読書活動の推進

①子ども読書会の活動推進

- ・小学校 3 年生から 6 年生を対象に市内 4 地区から応募のあった 3 地区において子ども読書会を開催しました。例年 5 月から開催していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により 10 月からの開始となりました。3 地区 17 人の児童が参加しました。
- ・1 地区参加がなかったことが残念です。また、毎年 10 月に開催していた全体での野外活動ができなかったことも残念です。参加児童の感想を春の読書週間で紹介することは続けていきます。

※団体貸出制度 学級やまちづくりセンターなどの団体を対象に、50 冊以内の図書を 1 か月間貸出する利用方法。貸出冊数、期間は異なるが、県立図書館も団体貸出を行っている。

②簡易閲覧所の利用促進

- ・「浜田市佐々田文庫(※)整備基金」から図書 308 冊を購入し、市内 13 か所の簡易閲覧所の充実を図りました。
- ・令和 3 年 3 月のしまね JA 上府事業所の引き上げに伴い、国府まちづくりセンター有福分館での受入れに変更しました。

③移動図書館の利用促進

- ・6 コース 34 か所を、月 1 回ペースで巡回しました。1,457 人の利用者で 4,796 冊の貸出がありました。
- ・出張展示が、コロナ感染症対策のため、3 月の石見まちづくりセンターのイベントのみとなりました。今後も状況に合わせて出張展示を行いたいと考えます。

3 学校等における読書活動の推進

(1) 保育所、認定こども園、幼稚園における読書活動の推進

①読み聞かせの充実、親子読書の推進

- ・職員による読み聞かせ(毎日)保護者ボランティアによる読み聞かせ(毎月)やボランティアサークルによる読み聞かせを実施しました。
- ・毎週 1 回本の貸出、また長期休業期間にも貸出を行い、親子読書の推進に努めています。
- ・公共図書館を積極的に活用し、本に親しむ環境づくりを行っています。
- ・これまでの取組を継続し、読み聞かせボランティア等の活用や保護者へ読み聞かせボランティア活動参加を呼び掛けていきます。
- ・公共図書館のサービスの活用や、貸出できる蔵書の充実等を図り環境づくりに努めます。

②保護者への啓発、情報提供

- ・「園だより」等により親子読書のすすめや本の選び方等保護者への情報提供を実施しました。
- ・外部の専門家を招き保護者を対象とした読み聞かせの研修会等を開催し、保護者への啓発を行っています。
- ・引き続き、保護者への情報提供に努めるとともに、研修会等を企画し、親子読書や読み聞かせの大切さについて啓発を行います。

※佐々田文庫 佐々田懋氏が佐々田奉公会を設立し、図書館への寄付から始まった「佐々田文庫」を設置した。まちづくりセンターなど市内 13 か所に簡易閲覧所がある。

③研修会等参加による職員の資質向上

- ・専門家や読書ボランティアの方からの情報を取り入れ、読み聞かせ、本の選択等の知識の習得に努めています。
- ・研修会等への参加や積極的な情報、知識の習得に努め、職員の資質向上を行います。

(2)小学校、中学校における読書活動の推進

①学校図書館の整備・充実

- ・市立図書館や他の学校図書館と連携・情報交換などをおこない、学校図書館資料の充実を図りました。
- ・学校図書館図書標準は小学校12校、中学校4校が達成しました。
- ・長期休業期間中に、図書の貸出や調べ学習の支援を行っている学校があります。
- ・学校図書館と市立図書館とのネットワークの充実を図る必要があります。
- ・引き続き、学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、地域資料の整備・充実に努める必要があります。

②読書習慣づくりの推進

- ・読書指導の基礎の定着を図り、児童生徒が進んで記録をつける習慣を身につけるため読書ノートを配付し、有効活用を図りました。
- ・朝読書、読み語り、アニメーション(※1)、ビブリオバトル(※2)、読書ビンゴ(※3)、味見読書(※4)等を取り入れることで、より本の楽しさを知り、読書へのきっかけになる機会を設け、読書に親しめる環境づくりに努めました。

※1 アニメーション 読書の楽しさを伝え、生まれながらにもっている読む力を引き出そうと開発・体系化した読書指導方法。

※2 ビブリオバトル 京都大学から広まった輪読会・読書会、勉強会の形式で「知的書評合戦」とも呼ばれる。発表者が進めたい本の魅力を紹介しあい、聴衆の投票数で勝敗が決まる。

※3 読書ビンゴ ビンゴカードを配布し、ビンゴ達成を目標にマス目に記された本を読む。

※4 味見読書 テーマごとに複数の本を用意し、全部読むのではなく初めのところだけ短時間で読み、簡単に記録することを繰り返すことで、いろいろな本に出会える方法。

- ・小学校 14 校、中学校 2 校において、家読(家庭読書)の推進に取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、地域住民による読み聞かせボランティアの活動が制限されています。

③学校司書等配置事業の推進

- ・全校に学校司書(※1)または学校図書館支援員を配置し、学校における読書活動の推進と各教科における言語活動の充実を図りました。
- ・学校司書や学校図書館支援員の「連絡会」を開催し、協調学習(※2)の研修会や調べる学習コンクール(※3)後の授業での図書館活用教育の作品紹介を行いました。その他、意見交換、情報交換の場を設けるなど、資質向上に努めました。
- ・教育委員会に学校図書館支援センターを設置し、学校司書等の取組を支援しました。また、定期的に「学校図書館支援センターだより」を発行し、各学校に配布することで、学校司書等による取組や学校図書館活用教育の事例等に係る情報の共有を図りました。
- ・学校司書は、各教科における言語活動の充実、学校における読書活動の推進、学校図書館を活用した課題解決的学習や探究的学習の推進を図る上で大きな役割を担っており、引き続き全校に配置する必要があります。また、継続的に学校司書を配置していくため、その役割や必要性を広く周知し、理解を得ていく必要があります。
- ・新型コロナの感染状況に応じて、GIGA スクール(※4)構想に伴い、対面式と非対面式のそれぞれのよさを意識した研修の在り方について考えていきながら、学校司書の研修の場を設け、資質向上を図る必要があります。

※1 学校司書 小中学校の学校図書館で、児童・生徒の読書活動や、教員と連携し学校図書館を活用した学習充実のための支援を行う人。

※2 協調学習 東大 CoREF を中心として展開する「知的構成型ジグソー法」という手法で、主体的・対話的で深い学びを作り出す学習方法。浜田市は平成 23 年度から参加している。

※3 調べる学習コンクール 図書館振興財団主催で行われている「図書館を使った調べる学習コンクール」のこと。興味をもったことを調べてまとめ、表現した作品のコンクール。浜田市は平成 26 年度から島根県で唯一参加している。

※4 GIGA スクール 児童生徒に 1 人 1 台の端末を配布し、教育の ICT 化を進める構想。

④学校図書館活用教育の推進

- ・学校図書館活用教育研究指定校を2校指定し、公開授業等を開催して、学校図書館活用教育の普及を図りました。
- ・学校図書館活用授業で実際に行う単元一覧表、教科横断的な学校図書館年間計画を作成し、学校図書館の学習・情報センターとしての機能充実を図りました。
- ・授業で児童生徒が作成した成果物を学校図書館に展示・保管することで、教職員の授業支援を行い、児童生徒の学習意欲を高めるよう配慮しました。
- ・教育委員会に指導主事を配置し、学校図書館活用教育に係る指導助言を行うとともに、必要に応じてモデル授業を実施し、学校図書館活用教育の推進に取り組みました。
- ・毎年、全国コンクールにつながる「浜田市調べる学習コンクール」を開催しました。校内での取組や学校図書館支援センターの応援講座により、調べ学習に意欲的に取り組む児童・生徒が増えてきました。引き続き児童・生徒の知的好奇心や探究心、意欲を育て、調べる力をつけていく必要があります。
- ・学校規模や校内体制等により、学校図書館活用教育に対する意識の差がみられます。司書教諭や学校図書館担当教員及び学校司書だけでなく、教職員全体の継続的な関わりが必要不可欠です。学校として組織的に多様な読書活動の継続、企画ができる支援、小中学校が連携した取組を推進していく必要があります。

⑤特別支援学級における読書活動の推進

- ・市立図書館や島根県西部視聴覚障害者情報センターのバリアフリー図書を活用に努めました。
- ・島根県西部読書普及センターのバリアフリー図書を活用し、特別支援学級の読書活動を行いました。
- ・児童生徒の発達や障がいの状況に応じた読書活動が展開できるよう、教職員研修会が必要だと考えます。

(3)高等学校における読書活動の支援

- ・市立図書館において、団体貸出等のサービス提供やイベント行事の情報発信をしました。
- ・広報活動、生徒の職場体験等の受入れを行いました。
- ・研修への参加受入れについては、日程調整の難しさもあり、高等学校の教職員の参加はありませんでした。参加しやすい日時設定や興

味を持ってもらえるテーマ設定などの配慮が必要と考えます。

(4) 特別支援学校における読書活動の支援

- ・市立図書館において、バリアフリー図書の収集拡大、団体貸出等のサービス活用の推進、図書館の施設見学等の積極的な受入れ等を行いました。
- ・研修への参加受入れについては、日程調整の難しさもありますが、少ないながらも特別支援学校の教職員の参加がありました。

4 図書館における子ども読書活動の推進

(1) 読書環境の整備、充実

① 児童図書の充実

- ・令和2年度の児童書購入冊数は2,317冊で全購入冊数の24.4%にあたります。児童書蔵書冊数は96,434冊で全蔵書数の33.7%になります。課題図書、県立図書館おすすめの本等積極的に購入しました。
- ・利用者数が令和2年度実績で小学生は10,000人を超えていますが、中学生、高校生とも1,000人をわずかに超える程度となっています

② 子ども向け行事、サービスの充実

- ・前述の子ども読書会(2(3)①)の他、市内の中学校、高校と連携し、「中高生のおすすめの本」の特集展示を行いました。
- ・令和2年度はコロナ感染症対応により時期をずらし子ども読書会を10月から開催、おはなし会を7月から人数制限や来場者名簿を作成して実施しました。
- ・今後ともコロナ感染症対策を取りながら実施していく必要があります。

③ 中学生や高校生に向けたサービスの充実

- ・ヤングアダルト図書を186冊購入し、5,071冊の蔵書です。電子書籍も1,921点となっています。
- ・学習コーナーへの動線上にヤングアダルトコーナーを設けています。
- ・市内中学校・高等学校等と連携し、「中高生おすすめの本」の紹介をしました。
- ・ヤングアダルト世代の利用が、学習コーナー中心となっており、なかなか読書利用につながっていない状況にあります。学校教育課地域学校連携係と連携し中学校・高等学校の図書館利用につなげたい

と考えます。

④障がいのある子どものための読書環境の整備・充実

- ・点字本 52 冊、大活字本 1,016 冊と CD、DVD 等所蔵しています。カウンター前に大活字本コーナーを設けています。
- ・障がい者、高齢者向けの資料が多いので、子ども向け資料の充実を図る必要があります。また、特別支援学級、特別支援学校との関係を作っていきたいと考えます。

⑤司書の資質向上

- ・県立図書館から講師を招いたり、コロナ感染症対応について医療専門監の講話を聴いたりしました。
- ・調べ学習の応援講座や学校関係者との対話を通して、OJT による研修を進めることで、実践的な資質を向上していきたいと考えます。

⑥移動図書館の利用促進

- ・市内 34 か所を毎月巡回する移動図書館車両は、年間約 1,500 人の利用者と 5,000 冊の貸出冊数(R2 年度)の実績で、貴重な読書機会の提供となっています。
- ・利用者の 6 割が児童であり、学生は 2%にとどまっています。貸出冊数も 7 割が児童書となっています。

(2)関係機関・団体との連携、協力

①学校図書館との連携、協力

- ・寄託図書資料リストの提供、各図書館への配送サービスを行いました。
- ・職場体験、図書館見学を積極的に受入れました。
- ・調べる学習コンクールの応援講座や審査会の支援を行いました。図書館司書の資質向上のためにも、さらに協力していく必要があります。

②まちづくりセンター等との連携、協力

- ・子ども読書会の他、まちづくりセンターの依頼を受け、小学校 1 年生向け読書感想文教室を行いました。
- ・今後さらに、地域との連携を強化していきたい。

③公共図書館との連携、協力

- ・相互貸借、リクエストサービスにより利用者のニーズに可能な限り応えました。
- ・県立図書館「しまね子育て絵本」を活用して、各施設に配本しまし

た。

- ・相互貸借、リクエストサービスについては、子どもの利用がありませんでした。リクエストできることを子どもに周知していく必要があると感じました。

④島根県西部視聴覚障害者情報センターとの連携、協力

- ・点字本、大活字本等障がい者向けサービスを意識しましたが、島根県西部視聴覚障害者情報センターとの連携はほとんどできていない状況です。
- ・障がいのある児童・生徒が利用しやすい図書館となるよう県西部視聴覚障害者情報センターとの連携を進めていく必要があります。

⑤ボランティアとの連携、協力

- ・定期的開催している読み聞かせやストーリーテリング、電子紙芝居等ボランティアによる取組が進んでいます。また、読書週間イベント等ボランティアとの共催の事業に取り組みました。
- ・それぞれの取組を図書館が把握し、横のつながりがもてるような支援が必要であると考えます。

(3) 読書活動の啓発、情報発信

①こどもの読書に関する啓発活動

- ・読書週間での取組として、各館個性を生かしたイベント開催を計画しましたが、令和2年度のイベント開催はコロナ感染症の影響で下半期の活動となりました。
- ・できる限り子ども達を受け入れる図書館でありたいと思います。

②情報発信の充実

- ・図書館だよりやホームページで情報発信に努めました。市報に図書館の情報コーナーがあり、司書おすすめの本の紹介等読書活動の情報を発信しました。
- ・コロナ禍での図書利用として電子書籍を充実させたいと思います。特にヤングアダルト向けサービスを充実させたいですが、手に入りにくい状況です。

③職場体験や各種子ども向け講座の開催

- ・職場体験は中止となりましたが、図書館見学を9月以降受入れ、12月の学校、幼稚園が来館しました。
- ・小中学校、幼稚園等と連携を深め、職場体験・図書館見学をできる限り受入れるようにしたいと思います。

(4) ボランティアの育成、支援

① ボランティアの育成

- ・それぞれのボランティアの集まりで、イベント後の反省会等を計画されています。
- ・研修会等開くことができず、各ボランティアに依存してしまいました。新たな人材を受付けていますが周知が足りませんでした。

② ボランティアの活動支援

- ・事前の話合いにより連携し、工夫されたイベントを開催することができました。
- ・ボランティアの活動に任せた形になってしまいました。ボランティアどうしのつながりを深めるように研修、話合いを行いたいと思います。

第2次浜田市子ども読書活動推進計画における数値目標の進捗状況

内容	平成27年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 数値目標
子育て支援センターにおける読み聞かせの会の開催回数と参加者数	20回 延べ670人	11回 延べ143人	30回 延べ800人
移動図書館、簡易閲覧所の貸出冊数	5,153冊	5,704冊	7,200冊
学校図書館の1人あたりの年間貸出冊数	小学校71冊 中学校18冊	小学校102冊 中学校23冊	小71冊以上 中18冊以上
学校司書または学校図書館支援員の配置率	100%	100%	100%
平日の読書時間30分以上の児童・生徒の割合	小30.5% 中29.3%	小28.6% 中28.5% (令和元年度実績※)	小37.3% 中30.6%
児童図書蔵書数	85,116冊	96,434冊	100,000冊
市民一人当たりの図書貸出数	5.1冊	4.9冊	7.0冊
図書館利用者カード登録者の割合	33.3%	42.5%	45.0%
図書館ボランティア登録数	24人	10人	36人
電子書籍タイトル数	1,329点	1,921点	1,600点

※令和元年度実績 数値の根拠となる全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に実施されなかったため、令和元年度の数値を計上

Ⅲ 第3次計画の基本的な考え方

1 計画の位置づけ

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき策定するものです。

2 計画の期間

この計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

3 基本理念

「夢を持ち郷土を愛する人を育みます」

4 基本目標・基本方針

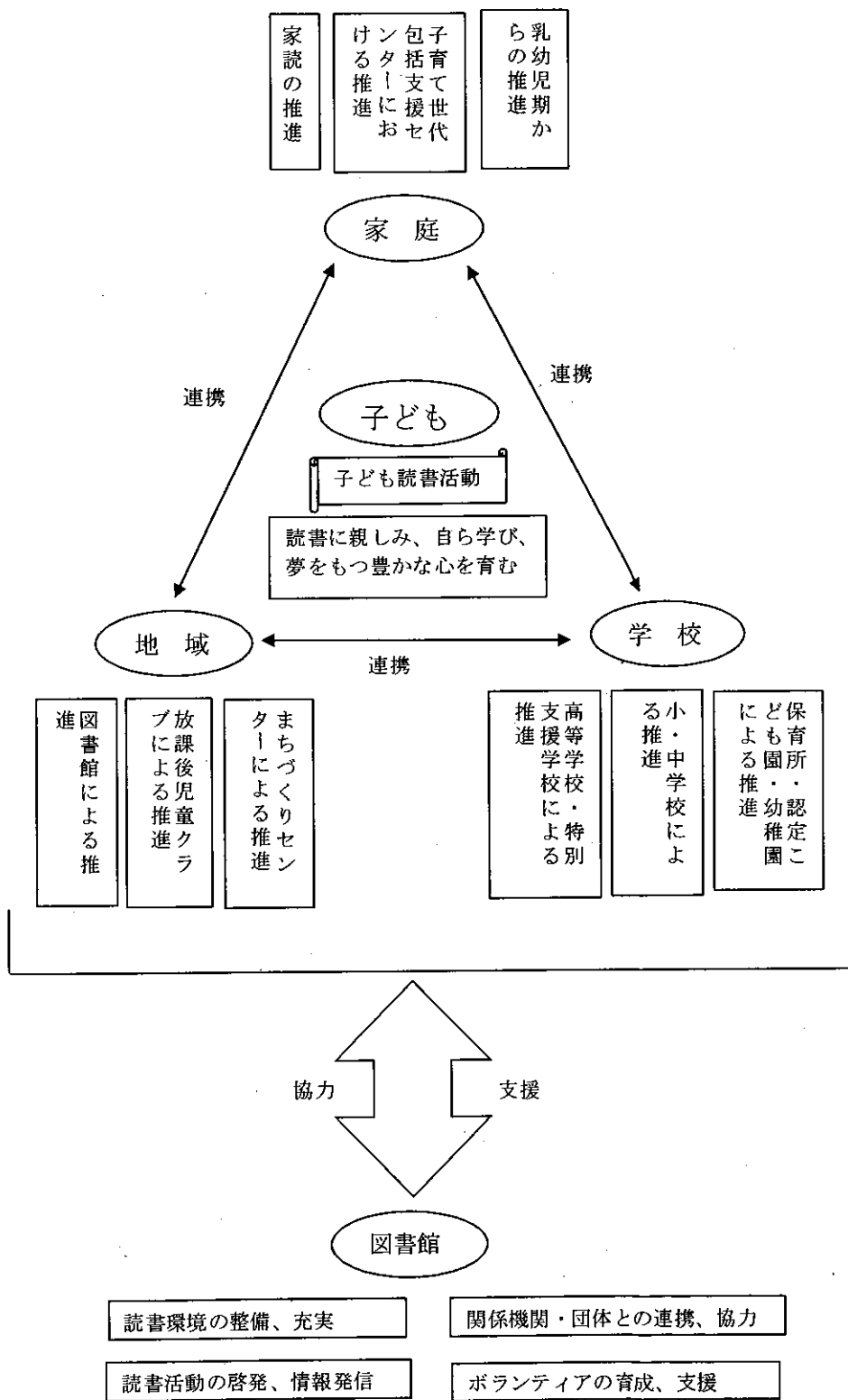
基本目標 「読書に親しみ、自ら学び、夢をもつ豊かな心を育む」

基本方針

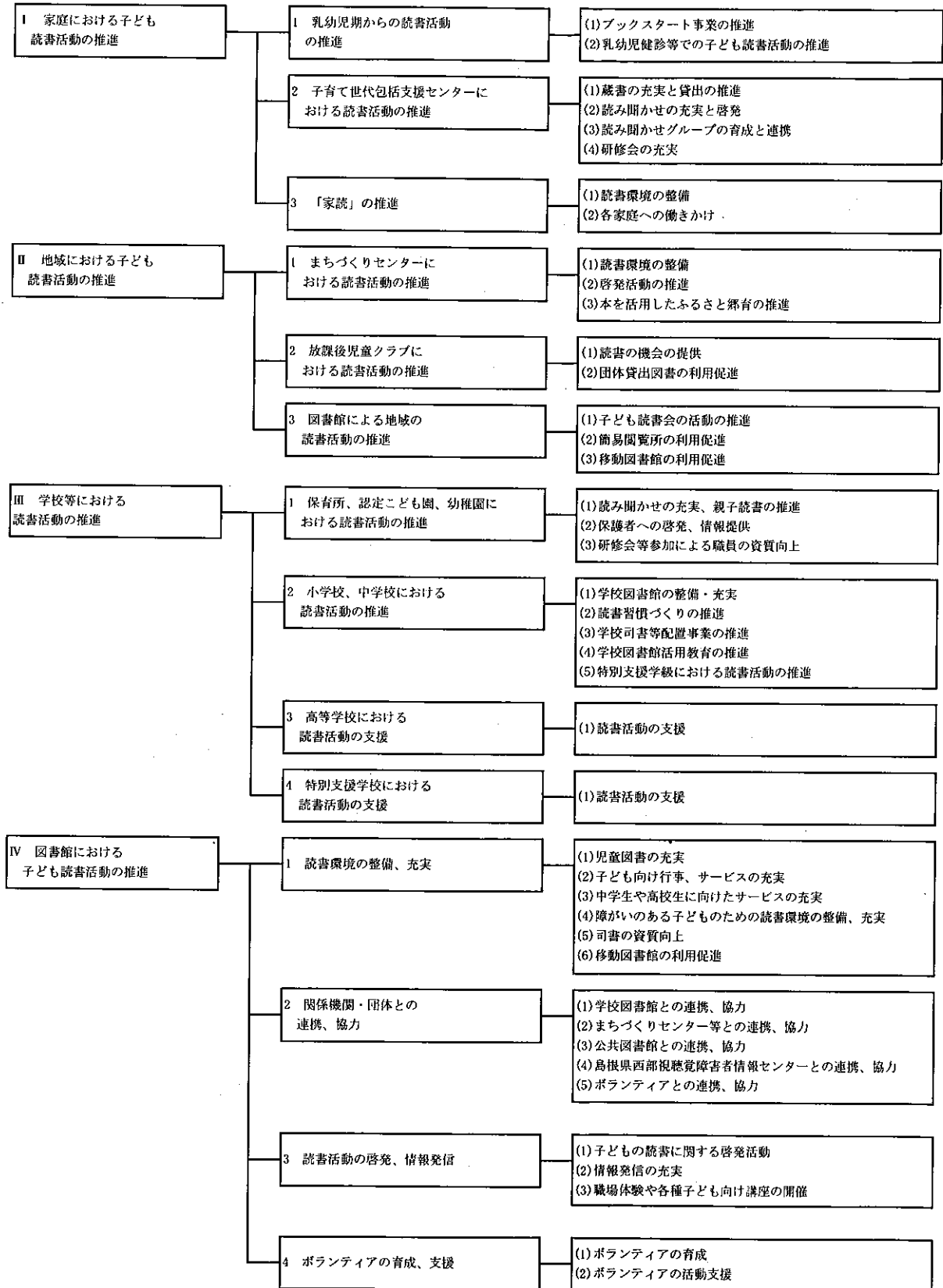
- ・家庭における子ども読書活動の推進
- ・地域における子ども読書活動の推進
- ・学校等における読書活動の推進
- ・図書館における子ども読書活動の推進

第2章 施策の方向と具体的な施策

計画の体系イメージ図



計画の体系図



I 家庭における子ども読書活動の推進

1 乳幼児期からの読書活動の推進

(1)ブックスタート事業の推進

絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけとしてもらうために、月1回の乳児健康診査(4か月健診)時にブックスタート事業を実施し、赤ちゃんとその保護者に絵本を1冊贈呈します。乳児健康診査が受診できない場合は、訪問などの機会を通じて全ての子どもに絵本を贈呈できるようにします。

(2)乳幼児健診等での子ども読書活動の推進

親子が絵本を通してふれあいを深めていくきっかけとなるように、1歳6か月健康診査・3歳児健康診査(各健診月1回実施)の待合において絵本にふれあう機会を設けています。

また、乳幼児健診において、子どもの年齢に応じた絵本の選び方や絵本の紹介、電子メディアとの適切な関わり方、絵本の読み聞かせの大切さ等について周知・啓発し、親子で読書を楽しむことができるよう支援します。

2 子育て世代包括支援センターにおける読書活動の推進

(1)蔵書の充実と貸出の推進

親子で絵本に対して興味や関心を持ち、読書を楽しむことができる環境づくりに努めます。

中央図書館による団体貸出しや、しまね子育て絵本、佐々田奉公会簡易閲覧所の利用促進を図り、親子でより多くの図書と出会える環境づくりを支援します。

(2)読み聞かせの充実と啓発

親子で絵本の楽しさを体験する場を提供するため、支援センター事業の中で、職員や講師、ボランティア等による絵本の読み聞かせの場を増やします。

妊娠期からの取り組みの一環として、ママパパ学級等においても、読

み聞かせの大切さについて知らせていきます。

(3) 読み聞かせグループの育成と連携

子育て中の保護者を中心とした、絵本の読み聞かせグループの育成と活動の支援を行います。

(4) 研修会の充実

子育て中の保護者や地域の子育て応援隊等のボランティアに対し、絵本の楽しみ方や選び方、読み聞かせの意義等について研修の場を提供します。

3 「家読」の推進

(1) 読書環境の整備

「しまね子育て絵本」「佐々田文庫」「移動図書館車」「寄託図書」「団体貸出」を活用することで、図書にふれやすい環境を整備します。

また、市立図書館、子育て世代包括支援センター、保育所、認定こども園、幼稚園、学校での読み聞かせの充実を図ります。

(2) 各家庭への働きかけ

ママパパ学級、乳幼児健診、浜田親子共育応援プログラム(通称「HOOP!」)の実施により家読の大切さを伝えるよう努めます。

また、子育て世代包括支援センター、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、図書館で連携し、出産前から家読を勧めるとともに、図書館イベントによる家読の推奨を行います。

II 地域における子ども読書活動の推進

1 まちづくりセンターにおける読書活動の推進

(1) 読書環境の整備

放課後や休日等に子どもの居場所となるまちづくりセンターにおいて、子どもが読書を身近に感じ、気軽に楽しめるよう、施設空間の有効活用や未就学児対象の本の収集など、読書環境の整備に努めていきます。

また、子どもだけでなく、幅広い年齢層に対応できる環境整備も併せて取り組みます。

(2) 啓発活動の推進

市立図書館や地域のボランティアと連携し、読書に関する情報発信や読書関連事業の企画など、地域の子ども、大人に対する読書の普及、啓発活動を推進します。

(3) 本を活用したふるさと郷育の推進

平成 28 年に発刊した「浜田市の人物読本 ふるさとの 50 人」を活用して、縁のある地に関する企画や読み聞かせ等を開催するとともに、郷土に関する蔵書の収集に努め、本を通じたふるさとへの愛着心の醸成を図ります。

また、文化スポーツ課から、小学校 6 年生へ「浜田市の歴史読本 ふるさと浜田の歩み」の配布を続けます。

2 放課後児童クラブにおける読書活動の推進

(1) 読書の機会の提供

放課後児童クラブの活動の中で、学習時間後に読書の時間を設け、児童の読書習慣の定着を図るとともに、支援員や地域のボランティアによる絵本や紙芝居などの読み聞かせを行い、読書の機会の提供に努めます。

(2) 団体貸出図書の利用促進

市立図書館、県立図書館西部読書普及センターの団体貸出制度や移動図書館車等を活用することにより、児童の年齢に応じた本の充実を図り、読書環境の整備に努めます。

3 図書館による地域の読書活動の推進

(1) 子ども読書会の活動推進

まちづくりセンターで毎月実施している「子ども読書会」や小学校と連携して開催している「調べる学習応援講座」等、地域・学校と連携した情報発信に努め、読書に関連した行事の充実を図っていきます。

(2) 簡易閲覧所の利用促進

佐々田奉公会簡易閲覧所について、引き続き資料の充実を努め、周知活動等による利用促進を進めます。

(3) 移動図書館の利用促進

市立図書館への来館が困難な子どものための読書機会の提供として、資料の充実や運行ルートの見直し等によりさらなる利用促進を図っていきます。

III 学校等における読書活動の推進

1 保育所、認定こども園、幼稚園における読書活動の推進

(1) 読み聞かせの充実、親子読書の推進

絵本や紙芝居などの読み聞かせをさらに充実させ、子どもの読書習慣の定着を促進するとともに、公共図書館や読み聞かせボランティアを積極的に活用していきます。

親子読書の推進にあたっては、保護者が家庭で気軽に読み聞かせできるように、絵本の貸し出し、蔵書や絵本コーナーの充実など環境づくりに努めます。

(2) 保護者への啓発、情報提供

保護者会や参観日などの行事や「クラスだより」、「園だより」などを通じて、親子読書や読み聞かせの大切さ、メディアに長時間接触することの子どもへの影響などについて、保護者への啓発を行っていきます。

また、保護者が子どもに読み聞かせたい本を選んだり、保護者自身が絵本に親しんだりできるように、絵本の紹介や読書に関する情報提供を積極的に行っていきます。

(3) 研修会等参加による職員の資質向上

園内研修を推進するなど、子どもの読書活動に対する重要性を認識するとともに、子どもの発達段階に合わせた絵本の選択や読み聞かせ技術、知識の習得を目指します。

2 小学校、中学校における読書活動の推進

(1) 学校図書館の整備・充実

学校図書館資料の充実のため、市立図書館や他の学校図書館との連携・情報交換など、学校図書館と市立図書館とネットワークの充実を図ります。

学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、地域に関係する昔話や

人物伝、伝統芸能等の地域資料の整備・充実に努めます。

また、長期休業期間中の読書活動を推進するため、図書の貸出や調べ学習の支援などに取り組みます。

(2) 読書習慣づくりの推進

児童生徒の発達段階に応じた年間指導計画の作成に努めるとともに、小学校1、2年生に読書ノートを配付し、読書習慣を身につけ、読書の幅を広げられるよう読書生活の基礎づくりを行います。

学校図書館を中心とした図書館活動への積極的参加を促進するため、本の楽しさを知り、読書へのきっかけとなる機会（朝読書、読み語り、ブックトーク、アニメーション、ビブリオバトル、読書ビンゴ、味見読書等）を積極的に設け、読書に親しめる環境づくりに取り組みます。

また、図書をコミュニケーションツールとして、家族で相互理解を深め、家族の絆が深まるよう、家読(家庭読書)を推進していきます。

(3) 学校司書等配置事業の推進

引き続き学校司書（学びのサポーター）を配置し、学校における読書活動の推進と学校図書館を活用した課題解決的学習や探究的学習の推進を図ります。

また、学校司書の研修の場を設け、GIGA スクール構想への対応など、学校司書の資質の向上を図るとともに、情報交換に努めます。

継続的に学校司書を配置していくため、その役割や必要性を保護者や市民へ周知し、学校司書に対する理解が深まるよう取り組みます。

これらの取組を進めるため、教育委員会に学校図書館支援センターを引き続き設置し、学校司書等の支援や情報共有・情報発信に取り組みます。

(4) 学校図書館活用教育の推進

各教科、総合的な学習の時間等における学校図書館の活用を行うとともに、読書の幅の拡充及び調べ学習の支援のため、学校図書館の学習・情報センターとしての機能充実に努めます。

教員が学校図書館活用教育の授業ができるように研修会を開催したり、教育委員会の学校図書館担当者が校内研修に参加したりすることで、学校図書館活用教育の授業拡大を行います。

また、学校図書館活用教育研究指定校を指定し、学校として組織的に取り組む体制を整えるとともに、教育委員会に指導主事を配置して指導

助言を行うことで、学校図書館活用教育の更なる普及に取り組みます。
引き続き「浜田市調べる学習コンクール」を開催し、児童・生徒の調べる力の向上に努めます。

(5) 特別支援学級における読書活動の推進

児童生徒の発達や障がいの状況に応じた読書センター、学習・情報センター機能の整備を進めるとともに、教職員を対象とした研修会を促進します。

また、「視覚障害者の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）等に基づき、市立図書館や島根県西部視聴覚障害者情報センター等と連携し、バリアフリー図書の整備を推進するとともに、島根県西部読書普及センターのバリアフリー図書を活用し、特別支援学級における読書活動を推進します。

3 高等学校における読書活動の支援

高等学校における生徒の読書活動を支援するため、市立図書館における団体貸出等のサービス提供やイベント行事の情報発信・広報活動、生徒の職場体験等の受入れを行います。

また、市教育委員会主催の学校司書研修等に高等学校の教職員が参加できるよう配慮し、教職員の資質向上を支援します。

4 特別支援学校における読書活動の支援

市立図書館におけるバリアフリー図書の収集拡大、団体貸出等のサービス活用の推進、図書館の施設見学等の積極的な受入れ、読書推進に関する情報提供や協力・助言を行い、特別支援学校における読書活動を支援します。

また、市教育委員会主催の学校司書研修等に特別支援学校の教職員が参加できるよう配慮し、資質向上を支援します。

IV 図書館における子ども読書活動の推進

1 読書環境の整備、充実

(1) 児童図書の充実

絵本などの児童図書のほか、調べ学習活用図書やヤングアダルト世代

向けの図書などの充実を図ります。また、県立図書館発行の「おすすめしたい こどものほん」など各種推進図書等の積極的な購入、受入れに努めます。

(2) 子ども向け行事、サービスの充実

子どもがより市立図書館を利用し、読書に親しめるよう、おはなし会をはじめとした子ども向け行事やこどもの読書週間等における各種イベントの充実を図ります。また、子どもの本選びの支援、本との出会いの機会の創出のため、定期的な特集展示やブックリストを作成し、読書相談等レファレンスサービスの機能向上を図ります。

(3) 中学生や高校生に向けたサービスの充実

読書から離れがちな中学生、高校生へのサービスの充実として、ヤングアダルト図書を積極的に収集します。また、電子図書館における中高生向けの電子書籍の収集や、タブレット端末の利用促進等、中高生に魅力ある図書館づくりに努めます。

(4) 障がいのある子どものための読書環境の整備、充実

点訳図書や大活字本、録音資料等を収集し、障がいのある子どもが読書に親しめるようサービスの充実を図るとともに、県立図書館や島根県西部視聴覚障害者情報センターのバリアフリー図書の積極的な活用を推進します。また、学習の一環として、市立図書館を利用する機会を提供します。

(5) 司書の資質向上

図書館司書として必要な資質・能力の向上を図るため、積極的に専門研修等を受講し、図書館サービスの向上に繋がります。

(6) 移動図書館の利用促進

市内山間部の小中学校等を巡回する移動図書館車「ラブック号」について資料の充実、学校等を通じた利用促進を図り、市立図書館への来館が困難な子どもに読書機会を提供します。

また、今後の公共施設統廃合や地域事情等を勘案しながら、運行ルートの見直しを検討します。

2 関係機関・団体との連携、協力

(1) 学校図書館との連携、協力

団体貸出や学校図書館活用教育図書の貸出等の利用促進を図り、学校図書館の充実を支援します。また、学校図書館との定期的な連絡会議を開催し、相互の情報交換やさらなる支援体制について検討し、連携・協力を一層進めていきます。

(2) まちづくりセンター等との連携、協力

子ども読書会開催や佐々田奉公会簡易閲覧所の設置・運営、市立図書館蔵書の配本等、地域の読書活動推進のためにまちづくりセンターや子育て世代包括支援センター等との連携・協力を図っていきます。

また、浜田市世界こども美術館や郷土資料館といった社会教育施設や関係機関の行事とコラボした展示など、郷土のことをより理解したり、大切に思ったりする取組を推進します。

(3) 公共図書館との連携、協力

リクエストサービスや図書館間相互貸借等において、他の公共図書館との連携・協力を図り、子どもの「読みたい」という思いに応えます。

また、県立図書館「しまね子育て絵本」を活用して、保育所、認定こども園、幼稚園、子育て世代包括支援センターなどの各施設に配本し、就学前の子どもが読書に親しむ環境づくりに努めます。

(4) 島根県西部視聴覚障害者情報センターとの連携、協力

対面朗読サービス提供のため情報共有に努め、バリアフリー図書の展示等、障がいのある子どもの読書活動の支援のため、連携・協力を図ります。

(5) ボランティアとの連携、協力

子どもが本に出会い、本に親しむ機会の充実のため、おはなし会や各種子ども向け行事において、ボランティアとの連携・協力を図ります。

3 読書活動の啓発、情報発信

(1) 子どもの読書に関する啓発活動

こどもの読書週間や秋の読書週間等における各種イベントやリーフレット等を通じて、市立図書館や読書に対する理解を深め、子ども読書

の普及、啓発を図ります。

(2) 情報発信の充実

おはなし会や、講演会などの子どもの読書活動に関する情報を、市報や図書館だより、ホームページ、パンフレット等により積極的に発信します。

(3) 職場体験や各種子ども向け講座の開催

子どもが市立図書館を身近に感じ、親しみ、図書館の役割を理解するために、職場体験学習や図書館見学の受け入れ、読書に関する子ども向け講座を開催します

4 ボランティアの育成、支援

(1) ボランティアの育成

ボランティアの養成講座、研修会等を開催し、読み聞かせ等ボランティアの育成、技術向上を支援します。市報等を通じた新規ボランティアの募集など、新たな人材発掘に取り組みます。

(2) ボランティアの活動支援

ボランティア交流会の開催などボランティア相互の連携、情報共有を支援します。また、ボランティアへの情報提供・交換や、ボランティアとの協働による行事の開催、ボランティア活動の場の提供など、市立図書館や地域等における活動を支援します。

第3次浜田市子ども読書活動推進計画における数値目標

内容	令和2年度実績	令和8年度
子育て世代包括支援センターの事業で行う全ての読み聞かせの回数と参加者数	—	50回 延べ840人
移動図書館、簡易閲覧所の貸出冊数	5,704冊	7,200冊
学校図書館の1人あたりの年間貸出冊数	小学校 102冊 中学校 23冊	小 110冊 中 25冊
学校司書または学校図書館支援員の配置率	100%	100%
平日の読書時間30分以上の児童・生徒の割合	小 28.6% 中 28.5% (令和元年度実績)	小 37.6% 中 34.0%
児童図書蔵書数	96,434冊	110,000冊
市民一人当たりの図書貸出数	4.9冊	5.5冊
図書館利用者カード登録者の割合	42.5%	45.0%
図書館ボランティア交流会の回数	0回	2回
電子書籍タイトル数	1,921点	2,200点

協議会委員の皆様からのご意見

○児童や生徒がタブレットを持参するようになった事で、それらを上手に活用できないものでしょうか？

図書館は紙媒体を借りる



図書館で紙媒体も借りられるし、有効期限付きでダウンロードもできる等

以上

